こうま幼稚園の紹介

学校法人　こうま幼稚園
園 長　高 麗 正 夫

幼稚園は教育の場です。学校教育のはじまりの場であり、小学校以降の生活や学習の基盤を育成する場でもあります。幼児期は、知識を教えられて身に付けていく時期ではありません。遊び（経験）を中心とした生活の中で、生きる力を身に付ける場です。遊びは幼児期にもっともふさわしい学びの場です。

本園は、子ども同士の関わり、心の成長を大事に育てる保育をしています。それは、遊びの中で育ちます。遊びを大事にしていますが、自由保育の幼稚園ではありません。目先の成長ではなく、心の成長を重視しています。

園の教育方針と、ご家庭の教育方針が同じ方向を向いた時、子どもは安心して自らの力を発揮し、大きく成長します。本園の取り組んでいる保育内容を紹介します。

満三歳児（ひよこ組）

令和４年５月から、満三歳児クラス（ひよこ組）の４年保育がスタートしました。少しでも早く集団の経験をして欲しい保護者のニーズに応える為、年少組４月入園を待たずに、三歳になる前日から入園可能になります。初めての環境に慣れる準備期間のならし保育もあります。従来の３年保育と同様に、無償化の対象となります。入園式は、３年保育入園の方と一緒に行います。

ならし保育

楽しみにしていた幼稚園。そんな思いを持って入園してきた子どもたちに不安や戸惑いを与えないようにするため実施しています。先生の顔や名前を知ることにより、幼稚園で毎日楽しく過ごすことが出来るようになります。満三歳児入園（４年保育）の方は、入園した次の日から、１週間かけて保育時間を延ばしていきます。年少入園（３年保育）の方は、入園式の次の日から３日間、先生の数を増やして保育します。

保育時間

令和４年度から保育の充実を図る為、保育時間の変更を行いました。
月・火・木・金曜日は、午前９時から午後２時まで(平常保育)
水曜日は午前９時から 13 時 00 まで（４月と３月は除く）
水曜日（４月・３月)、土曜日（月１回）は、９時から１１時３０分まで(午前保育)です。また、学期始めと終わりは午前保育になります。

先生と毎日直接話せる保育環境

子どもの日々の様子を通して担任と保護者が一つの目標を持つことにより信頼関係が生まれてきます。保護者との信頼関係を育てるため保護者と担任との会話を大切にしています。園生活の中で、いつもと違う様子、気になる事があった場合は、その日のうちに保護者に直接お伝えしています。ご家庭での様子と園での姿を共有し、お子様にとってより良い対応をご一緒に考えています。
登降園に園バスを使用せず、保護者による毎日の送り迎えを大切にしている理由がそこにあります。

ミニマラソン

本園の教育目標の第一に「丈夫な子ども」ということを掲げています。板橋区内で、園庭の広さは３本の指に入ります。その広さを利用して、毎日ミニマラソンを実施しています。年長になると、遊歩道を走ります。毎日の積み重ねで、在園中に体力が付き、小学生になった時に実感すると保護者からも大好評です。

文字や数の指導

「文字や数はなぜ必要ですか？」の質問にどう答えますか？文字も数もテストで 100 点をとるために習得することではありません。文字や数は生活に必要だからです。ということは、生活の中から学ぶことで、活用方法も習得できると思います。子どもたちは、友だちが大好き。この大好きな気持ちを色々な手段で伝えたい。そのひとつが「お手紙交換」です。始めは、絵から始まり、手紙をもらった嬉しさを伝えたい優しい心が文字での表現へと発展します。必ずしもあいうえおの順でなくても「文字を書いた」という子どもの心からわき起こる気持ちを大切にして、卒園の頃には沢山の文字が身近なものになっています。数も同様、友だちは何人？　泥団子が何個できた？　１０数えたらブランコ交代ね？　という机の上のドリルではなく、生活の中で学び活用する指導をしているのがこうま幼稚園の特徴です。

絵本の活用

毎月、学年に合わせた絵本を用いて、楽しみながら本に触れる機会を大切にしています。クラスの友達と絵本を共有する事で、季節を生かした遊びや発見に繋がっています。自然豊かな園庭に図鑑を持って散策へ出かける姿もよく見られます。

ひろばの日（縦割り保育）

幼児期の異年齢(縦)の関わりは人間形成を構築する上で大切なことと考えています。「ひろばの日」とは、クラスや学年を越えて全園児、全職員との関わりが出来る環境の中で遊ぶ、縦割り保育の日です。「ひろばの日」のねらいは、
【年長：クラスの一員として協力したり助け合ったりする事で活動に対する充実感を味わう。

年中：達成感を自信に繋げ進級への期待と意欲を持つ。
年少：自分のやりたい事を見つけて、意欲的に取り組む。】
人から言われたことだけが出来るのではなく自分で考え、自ら行動できる子どもになってほしいということです。年長児が中心となり遊びを決め、自発的に遊べるように３年間で成長していきます。また、違う学年クラス同士で一緒にお弁当を食べたり、園外保育の時に手をつないで出かけたりします。その為　園庭で異年齢児同士が関わって遊ぶ姿や、困っている子を年上の子が助ける姿がよく見られます。縦のかかわりを持つことでお互いを意識し、年下は年上への憧れを抱き、年上には思いやりの心を育んで行きます。

給食（希望制）と弁当

本園は開園当初から４６年間、昼食はお弁当持参の保育を行ってきました。子ども達のお弁当箱の中には保護者の愛情が入っています。その方針は変わりありませんが、働くご家庭も幼稚園教育を受けられる体制を整えたく、給食（希望制）を始めました。給食の申込み、キャンセルは当日の朝を８：２０を締切にし、 様々なご家庭の状況に対応出来るようになっています。

野菜の収穫を味わえる自農園

幼稚園には３ヶ所の農園があります。１ヶ所は保護者の方が利用し、他の２ヶ所は園児のために利用しています。収穫する野菜は、収穫順にじゃがいも、さつまいも、大根の３種類です。農園の場所も幼稚園から徒歩で約１５分の所にあり、園外保育としても最適な場所にあります。作物の成長の様子を観るため、数回見学に行きます。収穫は親子で行います。 収穫した野菜は、家庭に持ち帰ります。幼稚園では、じゃがいもを洗って蒸して食べます。さつまいもは石焼いもにして食べます。大根は千切りにし、味噌汁にしてお弁当のときに頂きます。自分たちが収穫し、作ったということで何杯もおかわりする姿が見られます。

専任講師による６つの課外教室

保育後に専門の講師による様々な教室を園内で実施しています。

①体操教室　　いろいろな運動経験と集団活動を通して心身の発達を促し健康で明るい子どもに育つことを目的としています。担当は、サワダスポーツクラブから、専任の指導者に来てもらっています。保育中の正課体操も行っています。

②サッカー教室　　サッカーの技術の向上を目的にするのではなく楽しくサッカーをして遊ぶことを目標にしています。担当は園長(高麗)と、クラブチームで指導している日吉コーチです。男の子も、女の子も楽しくボールと触れ合っています。

③英語教室　　ECC の専任講師による教室です。現在、年少から小学一年生まで実施してい

ます。また、小学校で英語の授業が始まる事を受け、令和３年から保育中に年長のみ、ECC の専任講師による英語教室を開始しました。クラス単位で歌ったり、体を動かしたりしながら英語で遊んでいます。

④チアダンス教室　ヒップホップ・ジャズダンス・バレエの要素を取り入れたチアダンスで、リズム感・柔軟性を身に着けることができます。講師は、ダンスインストラクター スポーツメンタルトレーナーの SUZUKA 先生です。

⑤個人ピアノ　　カワイ音楽教室から講師が来ます。

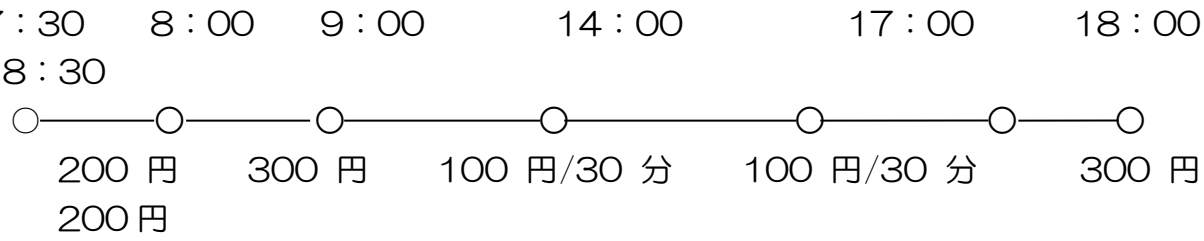
⑥書道教室　　令和５年９月開講しました。

預かり保育（にこにこクラブ）

現在、働くご家庭を応援するため、朝７：30～夕方６：30 までの 11 時間保育を実施しています。長時間保育にはきめ細やかな配慮が必要になってきます。子育てを経験したベテランの預かり専用職員が担当しています。もちろん、保護者の予定に合わせて全園児が利用可能です。
夏休み、冬休み、春休みの長期休業中も、ほとんどの保育日に預かり保育をしますが、下記の日は実施しません。

（１）土曜日、日曜日、祝日、都民の日、開園記念日
　　夏季休業（８月 13 日～15 日）、年末年始（12 月 29 日～１月３日）
（２）入園式、卒園式、運動会の振替休日。
（３）自然災害（台風、地震及び大雪等）の危険が予想される日
（４）感染症（インフルエンザ・コロナ等）による学級閉鎖のクラス

料金は午前７：30～８：00 まで２００円
　　午前８：00～９：00 まで３００円
　　午前９：00～午後５：00 まで３０分１００円
　　午後５：00～６：00 まで３００円
　　午後６：00～６：30 まで２００円



こうま幼稚園では預かり保育を「にこにこクラブ」と呼んでいます。